



第 17 回

日本胎児治療学会学術集会

新生児医療に繋げる胎児治療

プログラム

会 長 稲村 昇 近畿大学医学部小児科学教室

副会長 和田 紀久 近畿大学病院 NICU部



会 期 2019年12月7日(土)、8日(日)

会 場 岸和田市立 浪切ホール(南海浪切ホール)

〒596-0014 大阪府岸和田市港緑町1-1

第17回日本胎児治療学会学術集会 開催のご挨拶

第17回日本胎児治療学会学術集会

会長 稲村 昇

(近畿大学医学部小児科学教室)



謹啓

この度多くの関係者様のご尽力を頂き、私ども近畿大学医学部小児科学教室の主催で日本胎児治療学会の第17回学術集会を開催させて頂くことになりました。

本邦における胎児治療は近年、目覚ましい発展を遂げております。双胎間輸血症候群のレーザー治療、尿路閉塞疾患へのシャント術、頻脈性不整脈への経胎盤的抗不整脈薬の投与などが行われています。さらに、横隔膜ヘルニア、大動脈弁狭窄への胎児治療が予定されております。小児科医は、胎児治療を受けた新生児を引き続き治療するという新しいステージに入っています。胎児治療を受けた新生児は健常なのか、また、どのような治療を継続するべきか、などの問題が予測されます。本学会では小児科医、特に新生児科医にスポットを当て、テーマも「新生児医療に繋げる胎児治療」としました。今後の胎児治療に始まる新たな小児治療体系を考えたいと思い、シンポジウムでは「新生児科医が知っておくべき胎児治療の現状と近未来」と「胎児発育不全」を取り上げて産科医と新生児科医の活発な討論を期待いたします。

海外招請講演としてトロント小児病院のEdgar Jaeggi先生をお招きしました。先生は胎児不整脈の胎児治療にご高名な先生です。近年はEbstein病のcircular shuntへの胎児治療も取り組んでおられます。先生もはりきっておられますので今から楽しみです。

特別講演は長年本学会を引っ張って来られた元大阪府立母子医療センター小児外科部長の窪田昭男先生と近畿大学理工学部の巽純子先生に倫理面での講演をお願いしております。一般演題も多数ご応募いただき盛りだくさんな学会となりスタッフ一同気持ちを入れなおしております。産科医師はもちろんですが、多くの小児科医の参加をお待ちしております。

2019年12月7日(土)の懇親会には、近大マグロを用意しました。寿司400貫が料理できる大きなマグロです。是非、味わってください。岸和田市の岸和田市立浪切ホールに於いて開催いたします。岸和田市は大阪の南部に位置する中心都市です。だんじり祭りは有名ですが、美味しい魚もたくさんあります。是非、この機会に大阪の南部・泉州を満喫してください。

謹白

交通のご案内

岸和田市立 浪切ホール（南海浪切ホール）

〒596-0014 大阪府岸和田市港緑町 1-1

TEL 072-439-4173

Nami 南海浪切 NAMIKIRI HALL ホール

「浪切ホール」は2019年10月1日より、
ネーミングライツにより愛称が「南海浪切ホール」となりました。



【電車の場合】

新幹線 : JR新大阪駅 (=地下鉄御堂筋線 新大阪駅)

特急など : JR大阪駅 (=地下鉄御堂筋線 梅田駅)

→ 地下鉄御堂筋線 なんば駅 = 南海本線 なんば駅 → 岸和田駅

駅からは商店街を抜けて徒歩10分程度です。

【飛行機の場合】

関西国際空港 → 南海空港線 関西空港駅 → 南海本線 岸和田駅

大阪国際空港 → 大阪空港交通リムジンバス → 南海本線 なんば駅 → 岸和田駅

【車の場合】

阪神高速道路 (5号湾岸線) 岸和田南 I C 出口右折すぐ

駐車場は無料です

会場のご案内

南海浪切ホール 4F



ご案内

1、参加者へのご案内

(1) 参加受付

- ・受付場所：南海浪切ホール4階 運営本部（会議室4）前
- ・参加受付は当日受付のみです。
- ・参加受付で参加費と引き換えにネームカード、参加証、ケースをお受け取りください。
- ・ネームカードにはお名前とご所属をご記入いただき、会場内では必ずご着用ください。
- ・参加受付開設時間
 - 12月7日（土） 9：00 ～ 17：00
 - 12月8日（日） 9：00 ～ 15：00

(2) 参加費

- ・参加費の支払いは、現金のみのお取り扱いとさせていただきます。予めご了承ください。
- ・会員参加費 11,000円
- ・非会員参加費 1,3000円
- ・コメディカル、初期研修医 5,000円
- ・医学生、看護学生は無料とさせていただきますので受付で学生証をご提示ください。

(3) プログラム・抄録集

- ・ご希望があれば参加費と引き換えにお渡しします。（参加費支払い時のみの対応です）
- ・別途購入希望の方は受付にお申し出ください。（数に限りがありますのでご了承ください）
- ・販売価格 2,000円

(4) 学会単位など

- ・日本周産期新生児学会専門医更新単位2単位
 - ・産婦人科学会 専門医
 - <産婦人科領域講習>
 - ・教育講演1「妊娠と細菌感染」(12/7(土) 10:30~11:30)
 - ・シンポジウム2「胎児発育不全」(12/8(日) 14:40~16:00)
 - <専門医共通講習(医療倫理)>
 - ・特別講演2「ダウン症出生前診断の倫理」(12/8(日) 13:40~14:40)
- 聴講前後に受付で聴講登録をお願いいたします。

(5) クローク

- ・場所：南海浪切ホール 4階 特別会議室 入口横
- ・開設時間
 - 12月7日（土） 9：00 ～ 18：00
 - 12月8日（日） 9：00 ～ 16：30
- ・貴重品、壊れ物、生鮮食品はお預かりできません。
- ・必ず当日中にお引き取りください。（日をまたいではお預かりできません）

(6) 休憩所／企業展示

- ・場所：南海浪切ホール 4階 研修室2
- ・開設時間
 - 12月7日（土） 9：00 ～ 17：00
 - 12月8日（日） 9：00 ～ 15：00

(7) 会場利用にあたって

- ・会場内では、携帯電話の電源はお切りいただくか、マナーモードに設定してください。
- ・会場内は、運営本部が許可した方以外の撮影・録音・録画は禁止とさせていただきます。予めご了承ください。
- ・原則として会場内での呼び出しは行いません。必要な場合は運営本部にお問合せください。

(8) 会員懇親会のご案内

- ・日時 12月7日（土） 19：00 （18：30 開場）
- ・開場 南海浪切ホール 4階 交流ホール
- ・参加費 2,000円
 - できるだけ参加費とともにお支払いください。
 - 会場でも受け付けさせていただきます。
 - ご参加の方はネームカードのご着用をお願いいたします。

(9) 関連会議のご案内

- ・幹事会
 - 日時 12月8日（日） 8：15～9：15
 - 場所 第1会場
- ・総会
 - 日時 12月8日（日） 12：05～12：25
 - 場所 第1会場

2、座長へのご案内

- ・ご担当セッションの開始時刻 30 分前までに参加受付を済ませていただき、会場内右手前前方の「次座長席」にご着席ください。
- ・一般演題の発表時間は 10 分（発表 6 分、質疑応答 3 分）です。時間厳守の進行をお願いいたします。

3、演者へのご案内

（1）発表形式、進行

- ・発表形式は PC プレゼンテーションのみといたします。（音声の使用はできません）
- ・一般演題の発表時間は 10 分（発表 6 分、質疑応答 3 分）です。一般演題以外は座長の指示に従ってください。時間厳守の進行をお願いいたします。
- ・発表時のスライドの送り（戻り）は演台上のマウスを使用して演者ご本人により操作をお願いいたします。

（2）スライド受付

- ・ご発表されるセッション開始時刻の 30 分前までにスライド受付でデータ受付と試写をお済ませください。

（一般演題 1 でご発表の方は 9:00 にお越しいただくか、事務局に事前送付をご相談ください）

- ・場所：南海浪切ホール 4 階 特別会議室 入口横
- ・開設時間

12 月 7 日（土） 9:00 ～ 16:10

12 月 8 日（日） 9:00 ～ 14:10

（3）発表データ

- ・当日、会場に用意しているコンピューターは Windows のみとなります。
- ・発表データは、原則 USB フラッシュメモリーでの受け渡しをお願いいたします。
- ・発表スライドの作成は Microsoft PowerPoint のみとさせていただきます。
- ・フォントは、文字化けなどを防ぐため、できるだけ標準フォントをご使用ください。
（MS ゴシック、MSP ゴシック、MS 明朝、MSP 明朝、Times New Roman など）
- ・必ずバックアップデータをお持ちください。
- ・Macintosh や動画の動作に不安がある場合などは PC 本体の持ち込みをお願いいたします。
その際は電源ケーブル、バックアップデータをお持ちになり、スクリーンセーバーなどプレゼンテーションの妨げとなる設定は解除してください。
なお、プロジェクターへの接続は、miniD-sub15 ピンでの接続のみとさせていただきます。

懇親会のご案内

第 17 回日本胎児治療学会学術集会 懇親会

2019 年 12 月 7 日（土） 19：00～21：00

岸和田市立浪切ホール（南海浪切ホール）4 階 交流ホール

参加費 おひとり 2000 円

受付にて学会参加費といっしょにご精算ください。

なお、懇親会入場時のお支払いも可能です。

ビュッフェスタイルでの立食パーティーです！

近大マグロあり、だんじり囃子あり、岸和田で大いに盛り上がりましょう！



日程表

	12月7日(土)		12月8日(日)	
	第1会場(特別会議室)		第1会場(特別会議室)	第2会場(交流ホール)
09:00	受付開始		受付開始	
09:15	開会式			
09:30	9:20~10:20		9:20~10:10	9:20~10:10
09:45	一般演題1 胎児輸血		一般演題3 双胎	一般演題5 心臓
10:00	座長 笹原 淳		座長 市塚清健	座長 三好剛一
10:15			10:10~10:50	10:10~11:00
10:30			一般演題4 胎児疾患 その他	一般演題6 羊水腔シャント
10:45	10:30~11:30		座長 河津由紀子	座長 小澤克典
11:00	教育講演1			
11:15	松村謙臣 先生		11:00~12:00	11:00~12:00
11:30	座長 中田雅彦		教育講演2	一般演題7 肺 横隔膜 その他
11:45	11:30~12:30		前野泰樹 先生	座長 石井陽一郎
12:00	特別講演1		座長 与田仁志	
12:15	窪田昭男 先生		12:05~12:25	
12:30	座長 稲村 昇		総会	
12:45	12:40~13:40		12:30~13:30	
13:00	ランチョンセミナー1 (共催: GEヘルスケアジャパン)		ランチョンセミナー2 (共催: Canonメディカルシステムズ)	
13:15	高橋雄一郎 先生		稲村 昇 会長	
13:30	座長 石井桂介		座長 千葉喜英	
13:45			13:40~14:40	
14:00	13:50~14:50		特別講演2	
14:15	海外招聘特別講演		巽 純子 先生	
14:30	Edgar Jaeggi 先生		座長 和田紀久	
14:45	座長 稲村昇		14:40~16:00	
15:00			シンポジウム2	
15:15	15:00~16:30		座長 鈴木彩子 釣谷充弘	
15:30	シンポジウム1			
15:45	座長 和田紀久 遠藤誠之		閉会式	
16:00				
16:15				
16:30				
16:45	16:10~17:40			
17:00	一般演題2			
17:15	レーザー治療			
17:30	座長 高橋雄一郎			
17:45				

12/7(土) 19:00~21:00 懇親会

プログラム (12月7日(土))

第1会場(特別会議室)

(12月7日(土))は1会場での運営です。

開会のご挨拶

9:15~9:20

一般演題1 胎児輸血

9:20~10:20

座長 地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪母子医療センター
産科 副部長 笹原 淳

1-1 過去10年間に当院で胎児輸血を実施した新生児の予後に関する検討

独立行政法人 国立病院機構 岡山医療センター 新生児科¹⁾、同 産科²⁾

大山麻美¹⁾、佐藤剛史¹⁾、服部真理子¹⁾、福嶋ゆう¹⁾、玉井圭¹⁾、森茂弘¹⁾、竹内章人¹⁾、
中村和恵¹⁾、中村信¹⁾、影山操¹⁾、立石洋子²⁾、熊澤一真²⁾、多田克彦²⁾

1-2 抗D抗体価8192倍の胎児水腫に胎児輸血を繰り返し生児を得た1例

大阪大学 産婦人科¹⁾、大阪大学 小児科²⁾、大阪大学 輸血部³⁾

松山達也¹⁾、味村和哉¹⁾、谷口英俊²⁾、荒堀仁美²⁾、北畠康司²⁾、清川知子³⁾、富山佳昭³⁾、
涌井奈央¹⁾、原武也¹⁾、谷口茉莉子¹⁾、祝小百合¹⁾、川西陽子¹⁾、柿ヶ野藍子¹⁾、遠藤誠之¹⁾、
富松拓治¹⁾、木村正¹⁾

1-3 胎児母体間輸血症候群による胎児貧血に対して胎児輸血を複数回行った1例

大阪母子医療センター¹⁾、大阪大学大学院医学系研究科 産科学婦人科学教室²⁾

金川武司¹⁾、八木一暢²⁾、笹原淳¹⁾、山本亮¹⁾、城道久¹⁾、栗谷佳宏¹⁾、光田信明¹⁾、石井桂介¹⁾

1-4 胎児輸血中に胎児徐脈を起こし、胎児蘇生を行なった1例

国立成育医療研究センター 胎児診療科

嘉村駿佑、小澤克典、室本仁、杉林里佳、和田誠司、左合治彦

1-5 胎児輸血による母体ミラー症候群の治療効果

～ヒトパルボウイルス B19 に起因する重症胎児貧血 2 症例～

岐阜県総合医療センター 胎児診療科

千秋里香、松井雅子、浅井一彦、岩垣重紀、高橋雄一郎

- 1-6 妊娠第3三半期に中大脳動脈収縮期最高血流速度の上昇を認めた胎児骨髄異形成症候群の一例
大阪母子医療センター¹⁾、札幌医科大学 産婦人科²⁾
笹原淳¹⁾、川口晴菜¹⁾、染谷真行²⁾、山本亮¹⁾、金川武司¹⁾、光田信明¹⁾、石井桂介¹⁾

教育講演 1

10:30~11:30

座長 東邦大学医療センター 大森病院総合周産期母子医療センター
母体・胎児部門 教授 中田 雅彦

妊娠と細菌感染

近畿大学医学部産婦人科学教室 教授 松村謙臣 先生

特別講演 1

11:30~12:30

座長 第17回日本胎児治療学会学術集会 会長 稲村 昇
(近畿大学医学部小児科学教室)

周産期医療と Narrative-based Medicine

(医) 三日月会 月山チャイルドケアクリニック 名誉院長 窪田 昭男 先生

ランチョンセミナー 1

12:40~13:40

共催: GEヘルスケアジャパン

座長 大阪母子医療センター 産科 主任部長 石井 桂介

胎児治療症例と fetal HQ を用いた循環評価の試み ~DeVore 論文を紐解く~

岐阜県総合医療センター 胎児診療科部長・産婦人科主任医長 高橋 雄一郎 先生

座長 第17回日本胎児治療学会学術集会 会長 稲村 昇
(近畿大学医学部小児科学教室)

Treatment of Fetal Circular Shunt with Non-steroidal Anti-Inflammatory Drugs

トロント小児病院 Labatt Family Heart Center、トロント大学小児科学教授 Edgar Jaeggi 先生

新生児科医が知っておくべき胎児治療の現状と近未来

座長 第17回日本胎児治療学会学術集会
副会長 和田 紀久 (近畿大学病院NICU部)
大阪大学大学院医学系研究科
保健学専攻統合保健看護学分野生命育成看護学講座
母性胎児科学研究室
教授 遠藤 誠之

S1-1 総論：胎児治療の過去、現在、そして未来

大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻生命育成看護科学
遠藤誠之

S1-2 胎児治療を受けた児の予後について ～今後に必要な視点～

大阪母子医療センター 新生児科
和田和子

S1-3 胎児胸水の治療

聖隷浜松病院 総合周産期母子医療センター
今野寛子、寺田周平、松下充、村越毅

S1-4 外科疾患の胎児治療

大阪大学大学院医学系研究科 小児成育外科
渡邊美穂

S1-5 EXTrauterine Environment for Neonatal Development (EXTEND)におけるヒツジ未熟児の心循環機能評価

国立成育医療研究センター 胎児診療科¹⁾、
Fetal Heart Program, The Children's Hospital of Philadelphia²⁾、
Center for Fetal Research, The Children's Hospital of Philadelphia³⁾
小澤克典¹⁾、Zhiyun Tian²⁾、Jack Rychik²⁾、Marcus Davey³⁾、Alan W. Flake³⁾

S1-6 ラット先天性横隔膜ヘルニアモデルを用いた胎児治療の可能性

名古屋第一赤十字病院 産婦人科
津田弘之

一般演題 2 レーザー治療

16 : 40 ~ 17 : 40

座長 地方独立行政法人 岐阜県総合医療センター
胎児診療科部長・産婦人科主任医長 部長 高橋 雄一郎

2-1 胎児治療に関する全国実態調査の中間報告

大阪大学¹⁾ 国立成育医療研究センター²⁾ 岐阜県総合医療センター³⁾ 大阪母子医療センター⁴⁾
聖隷浜松病院・総合周産期母子医療センター⁵⁾ 東邦大学⁶⁾ 東北大学⁷⁾
祝小百合¹⁾、遠藤誠之¹⁾、味村和哉¹⁾、富松拓治¹⁾、高橋雄一郎³⁾、石井桂介⁴⁾、村越毅⁵⁾
中田雅彦⁶⁾、室月淳⁷⁾、和田誠司²⁾、左合治彦²⁾、木村正¹⁾

2-2 当院における TTTS Stage I の予後

国立成育医療研究センター 周産期・母性診療センター 胎児診療科
室本仁、杉林里佳、小澤克典

2-3 妊娠 26 週以降に胎児鏡下レーザー手術を施行した TTTS 症例の合併症と予後：多施設共同研究

東邦大学医学部 産科婦人科学講座¹⁾ 大阪母子医療センター 産科²⁾
国立成育医療研究センター 胎児診療科³⁾ 福岡市立こども病院 産科⁴⁾
鷹野真由実¹⁾、中田雅彦¹⁾、石井桂介²⁾、和田誠司³⁾、住江正大⁴⁾、山本亮²⁾、小澤克典³⁾、
佐久間淳也¹⁾、長崎澄人¹⁾、左合治彦³⁾

2-4 第二世代の胎児鏡下レーザー手術の治療成績について

山口大学医学部附属病院
村田晋、品川征大

2-5 双胎間輸血症候群に対する胎児鏡下胎盤吻合血管レーザー凝固術における

軟性鏡の補助的使用経験

岐阜県総合医療センター 胎児診療科・産科

岩垣重紀、高橋雄一郎、千秋里香、浅井一彦、松井雅子、森崇宏

2-6 FLP 後、膠原繊維化した羊膜上に血管新生が証明された selective IUGR の一例

高知医療センター産科¹⁾ 滋賀医科大学産科婦人科²⁾ 岐阜県総合医療センター胎児診療科³⁾

永井立平¹⁾、桂大輔²⁾、安見駿佑³⁾、小池雅子³⁾、浅井一彦³⁾、千秋里香³⁾、岩垣重紀³⁾、
高橋雄一郎³⁾

プログラム (12月8日(日))

第1会場 (特別会議室)

一般演題3 双胎

9:20~10:10

座長 昭和大学横浜市北部病院 産婦人科 市塚 清健

3-1 無心体のため当院へ紹介となった25症例の臨床的検討

福岡市立こども病院 産科

住江正大、小野ひとみ、中野嵩大、原 枝美子、北代祐三、中並尚幸、月森清巳

3-2 TRAP sequence に対するラジオ波凝固術の保険適応拡大と市販後調査

国立成育医療研究センター 周産期・母性診療センター 胎児診療科¹⁾、福岡市立こども病院²⁾
岐阜県総合医療センター³⁾、大阪母子医療センター⁴⁾、聖隷浜松病院⁵⁾、宮城県立こども病院⁶⁾
杉林里佳¹⁾、室本仁¹⁾、小澤克典¹⁾、和田誠司¹⁾、住江正大²⁾、高橋雄一郎³⁾、石井桂介⁴⁾、
村越毅⁵⁾、室月淳⁶⁾、左合治彦¹⁾

3-3 双胎間輸血症候群の羊水圧の検討

滋賀医科大学医学部附属病院 産科¹⁾、岐阜県総合医療センター²⁾、高知医療センター³⁾

桂大輔¹⁾、高橋雄一郎²⁾、岩垣重紀²⁾、千秋里香²⁾、浅井一彦²⁾、小池雅子²⁾、永井立平³⁾

3-4 臍帯付着部の近接を認めた一絨毛膜二羊膜双胎羊膜自然穿破の1例

九州大学産科婦人科

永井亜佑実、城戸咲 蜂須賀信孝 坂井敦彦 佐藤由佳 日高庸博 加藤聖子

3-5 本邦における産科医療補償制度原因分析報告書を用いた双胎妊娠脳性麻痺症例の検討

東邦大学医療センター大森病院 産婦人科

佐久間淳也、中田雅彦、鷹野真由実、長崎澄人、大路斐子、早田英二郎、前村俊満、
片桐由起子、森田峰人

座長 市立豊中病院 小児科 河津 由紀子

4-1 当院で胎児卵巣嚢腫と出生前診断された 28 例の検討

大阪大学 産科婦人科¹⁾、大阪大学 小児科²⁾、大阪大学 小児外科³⁾原武也¹⁾、味村和哉¹⁾、小松伶奈¹⁾、涌井菜央¹⁾、松山達也¹⁾、八木一暢¹⁾、谷口茉莉子¹⁾、
祝小百合¹⁾、川西陽子¹⁾、柿ヶ野藍子¹⁾、谷口英俊²⁾、荒堀仁美²⁾、北畠康司²⁾、渡邊美穂³⁾、
田附裕子³⁾、奥山宏臣³⁾、富松拓治¹⁾、遠藤誠之¹⁾、木村正¹⁾

4-2 胎児疾患が見つかり人工妊娠中絶を選択した妊婦へのグリーフケア -患者の言葉を前にして-

地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪母子医療センター

丹波千尋、西野千絵、黒田美穂、向井典子、和田聡子、福井伊左子、笹原淳、金川武司

4-3 口唇裂モデルマウス作製の試み

東京大学医学部附属病院 口腔顎顔面外科・矯正歯科¹⁾東京大学大学院医学系研究科 外科学専攻 感覚・運動機能医学講座 口腔顎顔面外科学分野²⁾東京大学医学部附属病院 TE 部 セル&ティッシュエンジニアリング寄付講座³⁾東京大学医学部附属病院 トランスレーショナルリサーチセンター⁴⁾川上大¹⁾²⁾、疋田温彦³⁾、西澤悟⁴⁾、星和人¹⁾²⁾

4-4 卵巣嚢腫との鑑別に苦慮した先天性胆道拡張症の 1 例

近畿大学医学部小児科学教室¹⁾、近畿大学医学部外科学教室（小児外科部門）²⁾小谷有紀¹⁾、有馬智之¹⁾、塩谷拓嗣¹⁾、小西悠平¹⁾、南方俊祐¹⁾、和田紀久¹⁾、前川昌平²⁾、
古形修平²⁾、佐々木隆士²⁾、杉本圭相¹⁾座長 座長 東邦大学医療センター 大森病院総合周産期母子医療センター
新生児科 教授 与田 仁志

胎児不整脈治療の最前線

社会医療法人 雪の聖母会 聖マリア病院 新生児科 部長 前野泰樹 先生

日本胎児治療学会総会

12 : 05 ~ 12 : 25

ランチョンセミナー 2

12 : 30 ~ 13 : 30

共催 : Canon メディカルシステムズ

座長 Women' s Clinic 千葉産婦人科 千葉 喜英

胎児心機能評価 —最新のシステムを含めて—

第 17 回日本胎児治療学会学術集会 会長 稲村 昇 (近畿大学医学部小児科学教室)

特別講演 2

13 : 40 ~ 14 : 40

座長 第 17 回日本胎児治療学会学術集会

副会長 和田 紀久 (近畿大学病院NICU部)

ダウン症候群の胎児スクリーニング検査を考える

近畿大学理工学部生命科学科 准教授 巽 純子 先生

シンポジウム 2

14 : 40 ~ 16 : 00

胎児発育不全

座長 近畿大学医学部産婦人科学教室

鈴木 彩子

(医) 久和会 花山ママクリニック

釣谷 充弘

S2-1 ① 総説 : 定義・疫学・問題点

徳島大学 産科婦人科

加地剛

S2-2 ② 病因・病態

昭和大学横浜市北部病院 産婦人科
市塚清健

S2-3 ③ 管理と予知

大阪母子医療センター 産科
金川武司

S2-4 ④ 治療と予防

昭和大学 産婦人科学講座
松岡隆、関沢明彦

閉会のご挨拶

プログラム (12月8日(日))

第2会場 (交流ホール)

一般演題5 心臓

9:20~10:10

座長 国立循環器病研究センター再生医療部、国立成育医療研究センター臨床研究センター
三好 剛一

5-1 近畿圏の胎児心エコー検査の現状

近畿胎児心臓病研究会

熊谷健、稲村昇、藤田大輔、渡辺健、黒寄健一、村上洋介、坂口平馬、石井陽一郎、金川武司、
林丈二、辻井信之、古川央樹、馬場志郎、佐藤有美、石原温子

5-2 母体血清を用いた胎児心不全診断法の開発

国立循環器病研究センター再生医療部¹⁾、国立成育医療研究センター臨床研究センター²⁾

国立循環器病研究センター産婦人科³⁾、三重大学産婦人科⁴⁾

国立循環器病研究センター創薬オミックス解析センター⁵⁾

三好 剛一¹⁾²⁾、細田 洋司¹⁾、吉松 淳³⁾、池田 智明⁴⁾、南野 直人⁵⁾

5-3 稀な circular shunt が原因で著明な心原性胎児水腫を伴った肺動脈弁欠損の1例

近畿大学医学部小児科学教室¹⁾、近畿大学医学部産科婦人科学教室²⁾、

近畿大学奈良病院小児外科³⁾

高田のり¹⁾、稲村昇¹⁾、丸谷怜¹⁾、葉宜慧²⁾、城玲央奈²⁾、鈴木彩子²⁾、米倉竹夫³⁾、杉本圭相¹⁾

5-4 母体抗 52kD SS-A/Ro、抗 60kD SS-A/Ro 抗体値に基づいたプレドニゾロン内服による胎児心ブロック予防の試み

大阪母子医療センター 小児循環器科¹⁾、大阪母子医療センター 母性内科²⁾

大阪母子医療センター 産科³⁾

橋本和久¹⁾、石井陽一郎¹⁾、森雅啓¹⁾、廣瀬将樹¹⁾、松尾久実代¹⁾、平野恭悠¹⁾、青木寿明¹⁾、
高橋邦彦¹⁾、川口晴菜³⁾、笹原淳³⁾、金川武司³⁾、石井桂介³⁾、和栗雅子²⁾、和田芳直²⁾、
萱谷太¹⁾

5-5 肺動脈狭窄が進行し、FLP 治療後に肺動脈閉鎖に至った TTTS の 1 例

東邦大学医療センター大森病院 新生児科¹⁾、東邦大学医療センター大森病院 産婦人科²⁾
千葉大学医学部附属病院 周産期母性科³⁾

緒方公平¹⁾、日根幸太郎¹⁾、斉藤敬子¹⁾、水書教雄¹⁾、鷹野真由実²⁾、長崎澄人²⁾、中田雅彦²⁾、
尾本暁子³⁾、与田仁志¹⁾

一般演題 6 羊水腔シャント

10 : 10 ~ 11 : 00

座長 国立成育医療研究センター 胎児診療科 小澤 克典

6-1 胎児胸水に対する胸腔-羊水腔シャントチューブが緩徐に効果を示した一症例

聖マリアンナ医科大学病院 産婦人科学

岩端由里子、岩端秀之、長谷川潤一、鈴木隆之、阿部恭子、三浦彩子、倉崎昭子、五十嵐豪、
近藤春裕、鈴木直

6-2 妊娠後期にシャントチューブが胎児胸腔内に迷入した macrocystic CPAM に対する胎児治療例

九州大学病院産婦人科

原麻子、日高庸博、坂井敦彦、蜂須賀信孝、佐藤由佳、城戸咲、加藤聖子

6-3 多量の胸水貯留を伴う肺分画症に対しステロイド、胎児胸腔-羊水腔シャントを行い、
正期産での経膈分娩可能となった一例

大阪大学医学部附属病院 産婦人科¹⁾、大阪大学医学部附属病院 小児科²⁾

大阪大学医学部附属病院 小児外科³⁾

涌井菜央¹⁾、味村和哉¹⁾、小松怜奈¹⁾、原武也¹⁾、松山達也¹⁾、八木一暢¹⁾、谷口茉莉子¹⁾、
祝小百合¹⁾、川西陽子¹⁾、柿ヶ野藍子¹⁾、富松拓治¹⁾、遠藤誠之¹⁾、谷口英俊²⁾、荒堀仁美²⁾、
北島康司²⁾、渡邊美穂³⁾、田附裕子³⁾、奥山宏臣³⁾、木村正¹⁾

6-4 胎児両側腎盂尿管移行部狭窄による水腎症，羊水過少に対して両側腎盂羊水腔シャント術を
施行したが呼吸障害のため早期新生児死亡に至った一例

国立成育医療研究センター

栗野啓、小澤克典、小林友紀、羅ことい、室本仁、杉林里佳、和田誠司、左合治彦

6-5 胎児治療をおこなったプルンベリー症候群の腎機能・排尿機能評価

宮城県立こども病院 泌尿器科¹⁾、宮城県立こども病院 産科²⁾

坂井清英¹⁾、城之前翼¹⁾、相野谷慶子¹⁾、室月淳²⁾

一般演題 7 肺 横隔膜 その他

11:00~12:00

座長 地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪母子医療センター
小児循環器科 副部長 石井 陽一郎

7-1 著明な結腸拡張と肺低形成をきたした鎖肛の1例

東京大学医学部附属病院小児外科

鈴木完

7-2 胎児水腫を合併した先天性有嚢性横隔膜ヘルニアの2例

九州大学産婦人科

永光今日香、城戸咲、坂井淳彦、蜂須賀信孝、佐藤由佳、日高庸博、加藤聖子

7-3 左横隔膜ヘルニアの右肺断面積計測における問題点：脾臓による overestimation

神奈川県立こども医療センター

川滝元良、金基成、石川浩史

7-4 右横隔膜ヘルニアの左肺断面積計測における問題点：胎児の向きによる変化

神奈川県立こども医療センター

川滝元良、金基成、石川浩史

7-5 本邦における脊髄髄膜瘤胎児手術に向けての取り組み 1

大阪大学医学部保健学科母性胎児科学¹⁾、大阪大学医学部附属病院胎児診断治療センター²⁾

大阪大学 産婦人科³⁾、国立成育医療研究センター⁴⁾

遠藤誠之¹⁾、奥山宏臣²⁾、渡邊美穂²⁾、香川尚己²⁾、味村和哉³⁾、木村正³⁾、和田誠司⁴⁾、
左合治彦⁴⁾

7-6 本邦における脊髄髄膜瘤胎児手術に向けての取り組み2 : Fetal Surgery E-Simulation

大阪大学医学部附属病院胎児診断治療センター

渡邊美穂、遠藤誠之、香川尚己、味村和哉、田附裕子、木村正、奥山宏臣